

学力向上に向けた取組

函館市立西中学校

1 課題

- 諸調査の分析
- TT や教科担任制の活用などの指導体制の工夫・改善

2 課題解決の具体策

- ① 朝学習コンクールの実践
- ② 校内研究の充実

3 取組の概要

①について

- ・ 本校では国語・数学・英語の基礎学力の向上を目指し、朝学習コンクールを学年対抗で実施している。例えば数学では少数・分数等の計算問題をプレテストとして行い、その後2週間を学級での取り組み期間として本テストを行っている。学級では朝学習（8：20～8：30）の時間を活用し、学習委員を中心に練習問題を作成したり、生徒同士で教え合ったりするといった取り組みを展開している。

20年度	51.9
21年度	70.6
22年度	80.5

プレテスト結果（現3年生）

左記の例からもわかるように、この取り組みが生徒の学力向上に果たす役割は大きい。

②について

- ・ 数学の学力向上を目的として、TTの授業を取り入れている。主教師が全体を指導し、サブ教師が遅れている生徒の補助にあたっている。また、研究内容にグループ学習を取り入れ、生徒同士の教え合いを基本においた授業実践を行っている。この内容については年2回の研究授業において互いに交流し合っている。グループ活動を支える基盤として、学級での諸活動、学校行事などでも意図的に小集団を活用し、その中でリーダー・サブリーダーの育成を図っている。

4 成果と課題

- この三年間の取り組みの中で生徒の基礎学力は大きな向上をみせている。
- 朝学習に対し意欲的に取り組む姿勢が確立できた。
- 応用力の充実にどう結びつけていくか方向を模索中である。